

6・7月の活動内容報告



体験会「ボーイスカウトとあそぼう！自然体験あそび」
(①6月5日に都会編 ②6月19日に野原編)

小学校1～5年生の子どもたちを対象に各回定員30組の募集をかけて実施しました。申込締切前には50組を超す応募があり、参加できないお子さんもありました。

申し込みのあったゲストは先着順に年齢別（1～2年生はビーバースカウトと、3～5年生はカブスカウトと）に分かれてスカウト活動を体験しました。

6/5 都会編



なかのZEROともみじ山公園を会場として実施しました。

ビーバー隊は、5つのグループに分かれてビンゴ用紙をもって公園内を探索しました。においを探したり、草笛を吹いたり、課題の葉っぱを探したりしました。また公園にあるものを使ってじゃんけんを



したり、葉っぱや木の実を使って顔を描いてみたり、また小枝で鉛筆のアクセサリーを作りました。ゲストからもスカウトからも楽しかったという声が多く聞かれました。

カブ隊は、五感を感じる暗夜行路、ロープ結びを覚える水分救出作戦、小枝を削って鉛筆を作るコーナー、もみじ山の自然を切り取る紅葉山ビンゴなどの体験活動をしました。



ボーイ隊、ベンチャー隊は常の活動を体験会に発揮してくれました。ビーバー隊、カブ隊のためにテントを建て、寝袋に入る体験コーナーを作りました。暗夜行路のコーナーではコース作りから



子どもたちへの説明などの運営を、また小枝の鉛筆アクセサリー作りのコーナーでは作り方の説明をしました。ベンチャースカウトはナイフの使い方をカブ隊年齢の子どもたちに教えました。お兄さんたちからの説明をしっかりと聞いて素敵な鉛筆を作っていました。

6/19 野原編



杉並立柏の宮公園を中心としたエリアで実施しました。晴天で夏のような暑さの中での体験会となりました。ビーバー隊、カブ隊ともに高井戸地域区民センターに集まり、それぞれグループ、組に分かれて追跡記



号を追ってハイキングはスタートです。途中のネイチャーゲームの課題をクリアしながら目的地である杉並区立柏の宮公園を目指しました。

公園では、ビーバー隊、カブ隊ともに、ビニール袋での炊飯体験、小枝の鉛筆アクセサリー作りの体験をしました。また、カブ隊はテント立て体験、火起こし体験も行いました。ビニール袋での炊飯体験ではシーチキンご飯を作りました



が、堅めだったり、味が行き渡ってなく無くて薄かったという声もありましたが、美味しい！の言葉もあちこちで聞かれました。

午後の楽しみの一つがスモアサンド（スモアサンドとは、焼いたマシュマロをビスケットでサ

ンドしたお菓子)。初めての子どもたちが多く、マシュマロがトロトロに焼けてできたスモアを笑顔で食べる姿がたくさんありました。

今回もボーイ隊やベンチャー隊のスカウトがそれぞれのコーナーで子どもたちに作り方、進め方を教えました。遊びに来てくれたゲストだけではなく、各隊のスカウトも良き体験ができたのではないかと思います。



ビーバー(BVS)隊



7/3 「7月を楽しむ」をテーマの隊集会を行いました。まずは七夕。七夕にちなんだクイズに答え、短冊を書き、おやつには星形金平糖を食べました。短冊には「コロナが早くなくなりますように」といった内容も書かれていました。そのあと、次回の川遊びに持っていき、川に浮かべる船を作りました。最後に工夫したところやがんばったところを発表しました。スカウトたちの発想も良く、素敵な作品がたくさん並びました。「お家に帰ってお風呂に浮かべて改良した」という話も耳にしました。



7/17 多摩六都科学館に行ってきました。本来は青梅の釜ヶ淵公園で川遊びの予定でしたが、数日前から雨が降り続いていて当日の天気も危うかったことから断念しました。花小金井駅から目的地までは、地図を頼りに〇〇を探す、〇〇を数えるなどの課題をクリアしながらグループに分かれて頑張っていました。



科学館内では、プラネタリウムの観覧と、5つの展示室でそれぞれのテーマの内容を楽しみました。最後、集まったときにいくつもあるコーナーから発電バイクや昆虫の標本、人体模型などなど、スカウト一人一人が楽しいと感じたもの、興味を持ったものについて発表しました。みんなの



興味あることがちょっと知れました。初めて訪れたスカウト（家族）も多く、「また来たいね」って声も聞かれました。

7/31 「なつまつりを楽しもう」をテーマに手作り縁日を楽しみました。まずは割り箸でわりばし鉄砲とマジックハンドを作成しました。ゴムの巻き方



を工夫してうまく動くようにしたり、オリジナリティーを出すために色付けをしたりしました。うまく使えるかどうかは練習あるのみ！縁日のゲームコーナーは作ったわりばし鉄砲とマジックハンドを上手に使っていました。また、スーパーボールすくいとかたぬきのコーナーもありました。ビーバー隊のお祭りなので失敗しても基本回数制限無しで何度も挑戦



することが出来ました。時間いっぱいやり切りました。

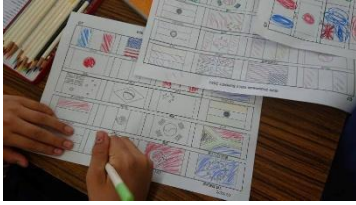
カブ(CS)隊



7/3 7月のテーマは「料理で世界旅行！」最初の組集会は、世界の国々を知るプログラムとして、組の中で国を挙げた後、外国に行ったことのあるスカウトにその国の様子を話してもらいました。アメリカ、インド、シンガポール、中国、韓国などなど。その後、カブスカウトにはちょっと難しいけれど、6月行われたG7、その後10月でバリで行われるG20の国々をピックアップ。それぞれの国旗

をみんなで色付けしました。最後は世界のクイズ大会。人口が多い、面積が広い、ヨーロッパ、スペイン語を話す国などで盛り上がりました。

7/10 「料理で世界旅行！」の2回目の組集会。前週はにわか



か雨で外に出れなかったため、ホーム公園のもみじ山生き物探して季節の変化を感じました。それから後部屋に戻って世界のプログラムを再開。前回、外国や都市を学んだので今回は文化について。特に外国料理。カレー/インドやピザ/イタリアなど有名な料理から、ムサカ/ギリシャなどレアな料理まで挙がりました。その後いよいよ国を絞ってスペインについて知っているもの組ごとに挙げて発表。首都のマドリード、ガウディ、アディオス、そしてパエリア！みんなパエリアを知っていました。2020年にカブ隊で参



加予定だったパエリア協会の子供大会がコロナで中止になり、その時購入したパエリア鍋があったので、とうとうそれ使ってパエリアを隊集会で作ります。

パエージャ・デ・マリスコス (Paella de mariscos シーフード)、パエージャ・バレンシアーナ (Paella valenciana バレンシア風) アロス・コン・コストラ (Arroz con costra ソーセージ) パエージャ・ミスタ (Paella mixta ミックス) アロス・ネグロ (Arroz negro イカ墨) から各組で話し合い、何でも入りのパエージャ・ミスタ+ソーセージになりました。

7/17 野外調理ハイキング 舎人ライナーで行く都立舎人公園へ、前週みんなで決めたパエリアづくりのハイキングに。前日からボーイ隊が隊キャンプに来ていて、その一角をお借りしました。駅から暗号文を解いて、ショウブ田での昆虫観察、ソリゲレンデで10分間のそり遊びを経てキャンプ場へ。いよいよパエリア作りです。前日スカウトが買い出した食料で、パエージャ・ミスタ (Paella mixta ミックス) ソーセージ入り作りの準備スタート。4組とも選んだパエリアの種類でした。直径50cmの大きなパエージャ(パ



エリア鍋)にシーフードを炒めて、みんなで切った野菜や鶏肉、米を入れて煮立てて作ります。

ちゃんとパエリアっぽくなった組とリゾットのようになった組があったけどみんな美味しかったです。食べる時は、スペインの飲み物サングリア(お酒抜き)が花を添えました。リーダーチームが作ったアロス・ネグロ (Arroz negro イカ墨)は、始めみんな嫌がってだけれど、食べてみたらけっこう、好評でした。最後に優秀組が発表されて、帰路につきました。

7/31 いよいよ夏のキャンプ間近。まずは8/5-10に実施される18NSJ(第18回日本スカウトジャンボリー)に参加の派遣隊3名とジャンボリーサマーに参加のボーイ隊の壮行会に参加。一緒に今年の夏キャン記念Tシャツをデザインしてくれたボーイ隊スカウトも表彰され、みんなで感謝です。その後待ちに待った夏キャンのお話し。テーマは“信州高遠で戦国時代にタイムスリップ”しおりをもとに、プログラム、持ち物、健康管理についてなどなどの説明を受けました。最後に記念Tシャツが配られて、キャンプ気分が盛り上がっていました。大切なのは自分で荷物を揃えて詰める事。できたでしょうか。



ボーイ(BS)隊



6/5 体験会活動に支援として参加しました。今回の舞台は「都会」。ナイフを使った鉛筆作成、ロープを使った暗夜行路という肝試し、テントを建ててキャンプ体験等、新しく来たお友達に対して親切にボーイスカウト活動を体験してもらいました。

6/19 体験会活動に支援として参加しました。今回の舞台は「野外」。大人数分の調理を行いました。調理用ジップ



ブロックに米と具材を入れ、煮たら出来上がり。新しく来たお友達に「美味しい!」と言ってもらってスカウトたちも作り甲斐を感じてもらいました。また、2名のスカウトが地区で行われた救急法講習会に参加しました。



6/26 班集会を行いました。この日から新体制。新しいボーイ隊隊長より年間のスケジュールと立て続けに迫りくるキャンプへの備えに必要なことを話し合いました。

また、Yさんが、手話章取得挑戦のため、杉並 12 団で行われた手話学習の活動にゲスト参加させていただきました。

7/3 備品整理大会をしました。物であふれかえていた倉庫からすべての物を文園公園まで運び、次のキャンプに必要なものを班ごとに整理しました。倉庫内もすっきり片付きスカウトだけでも搬入可能な状態となりました。

7/16-18 舎人公園にてキャンプを実施しました。初日夜雨に降られましたが大きなダメージもなく無事プログラムをこなすことができました。車の手配、その他お手伝いくださった保護者の皆様ありがとうございました。コロナ禍で、特にキャンプについては2年間何もできていなかった地点から今年3回目のキャンプが完了。スカウトたちの技能、精神面含め確実に成長しています。午前中は、日陰となるフライの設営や、キャンプ体験のためのドームテントの設営を行いました。午後は野営技能訓練として焚火の訓練を行いました。キャンプで温かい食事を食べるために必要な火は、どのように着火させて、どのように炎を続けるか、久しぶりの野営訓練で感覚は取り戻せたかな？



7/31 第18回日本スカウトジャンボリー(全国キャンプ大会)まで残り1週間余。今回、ボーイ隊は派遣隊に参加する形を取らず、自隊キャンプにおける「ジャンボリーサマー」として参加することになり、参加メンバーの壮行会を行いました。スカウトのセレモニーのシンボルである国旗掲揚の練習、今更聞けない技能演習を直前復習し、キャンプに備える集会となりました。

ベンチャー(VS)隊



6/5 全スカウトが体験会に奉仕参加しました。各ブースが円滑に運営できるよう、ボーイ隊スカウトと協力しながら取り組みました。

6/19 都会編同様、体験会の奉仕に参加しました。体験会参加者が柏の宮公園に集まる前、朝早い時間から備品の搬入やテントの設営を行います。全ての工程を無事に終え、みんなが帰っても彼らの奉仕は続きます。全ての片付けが終わったあとの、自分へのご褒美はアイスだったとか？



7/2 M スカウトが菊スカウト章課目を終え、団面接会に臨みました。これまでの活動成果と今後の取り組みを、しっかりと面接員の方に伝えていました。いよいよ、次はあすなろ地区面接会本番です。

7/3 備品整理大会をしました。今後、7月、8月とキャンプが控えていることから、念入りにボーイ隊スカウト達は整理を行います。先輩スカウトとして、快適なキャンプ生活が送れるよう、彼らに助言を与えていました。

7/14 M スカウトが菊スカウトを目指し、あすなろ地区面接会に参加しました。ボーイ隊在籍時、初級から2級、1級と着実にステップアップし、周囲から信頼されるスカウトへ成長しました。今後は、地区関係者からも一目置かれるような、中野8団を代表するスカウトを目指して欲しいと期待しています。

7/16-18 ボーイ隊キャンプに2名のスカウトが奉仕参加しました。中々、上手に火をつけられないボーイ隊のメンバーに、火おこしの基本を伝授します。また、期間中は様々なスカウト技能（手旗信号、ロープ結び、測量など）を、繰り返し教えてあげていました。



7/30 3年振りに中野8団より菊スカウトが誕生しました!! T. M. くんです。彼は自ら企画した活動が、感染状況により中止せざるを得ない悔しさを幾度も味わいました。そのような環境でも諦めず、ひたむきに活動に取り組んだ結果、実を結ぶことができました。保護者

様をはじめ、関係者各位のご協力に厚く御礼申し上げます。

7/31 第18回日本スカウトジャンボリー(全国キャンプ大会)まで残り1週間余。代表として派遣隊に参加するHくん、Mくんの壮行会を行いました。



ローバー(RS)隊



6/18-19 Yさんがあすなろ地区ローバーの新歓キャンプに参加し、釣りや大宮八幡宮でキャンプをしました。

第18回日本スカウトジャンボリー

4年に1度行われる全国キャンプ大会である日本スカウトジャンボリー。今年は日本でのスカウト活動100周年を記念して東京で大々的に行われる予定でしたが、新型コロナの影響もあり各地で分散型で行われることになりました。中央会場での大集会はネットで配信されるなど、ジャンボリー活動にも新しいスタイルが導入されることになりました。

また分散型になったことに伴い、事前登録すれば、各団、各隊で行われる夏のキャンプについて「ジャンボリーサマー」としてジャンボリーに参加と扱うことになったのも新しい形です。

中野8団は、ボーイ隊は「ジャンボリーサマー」として夏のキャンプを行うこととし、ベンチャー隊から2名のスカウトが派遣隊に参加することになりました。

派遣隊は地区で1隊を編成し、中央会場に参加します。2名のスカウトに加え、Oカブ隊長が、派遣隊隊長として参加することになりました。

派遣隊は以下のスケジュールで事前準備を行いました。



6/25-26 訓練キャンプ



派遣隊が5/28に結隊され、隊として結束を深めてジャンボリーに参加するために、訓練キャンプが実施されました。場所は地蔵山野営場。ジャンボリーで実施される日本プログラム、火起こし、班旗立て、手旗プログラムを練習しました。

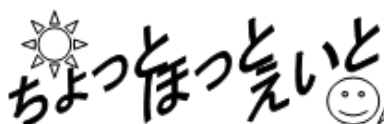
7/30 あすなろ地区壮行会。18NSJに中央会場への派遣

隊とジャンボリーサマーへの参加隊に対して、壮行会が実施され参加致しました。



6, 7月のスカウト進歩情報

BVS:	H. Y. くん	小枝章 6 本目
	Y. U. くん	小枝賞 4 本目
	M. N. さん	小枝賞 2 本目
	T. N. くん	小枝章 2 本目
	H. K. さん	小枝賞 2 本目
	T. K. くん	小枝賞 2 本目
	N. C. くん	小枝章 1 本目
	M. K. さん	小枝賞 1 本目
	S. S. さん	小枝賞 1 本目
	R. W. さん	小枝賞 1 本目
CS:	Y. U. さん	チャレンジ章「国際」「特技博士」「料理家」
	R. T. くん	チャレンジ章「手伝い」
	K. O. さん	チャレンジ章「特技博士」「フィッシャーマン」
	Y. K. くん	チャレンジ章「手伝い」「特技博士」
	Y. I. さん	チャレンジ章「技術博士」
	I. O. さん	チャレンジ章「料理家」
BS:	A. Y. さん	技能章「スカウトソング章」「洗濯章」「計測章」 「観察章」
	K. M. さん	技能章「スカウトソング章」、信仰奨励章
VS:	T. M. くん	菊スカウト章



活動で見つけたほのぼの話

例年6月に行っているスカウト活動体験会(去年は緊急事態宣言の影響で7月に実施)。昨年からは野外活動が見直された影響と、おそらく募集をオンラインフォームによる申し込みにしたためか、申込が大変多く、お断りする希望者も出るほどの人気です。今年も定員オーバーの状態でした。保護者の皆様にはチラシ配布と両日の運営にたくさんのご協力いただきありがとうございました。

おかげ様でビーバー隊では、入隊への前向きな検討のために引き続きの体験参加をしているお子さんもいますし、既に入隊したスカウトもいます。スカウトの人数が増えると、その分、団運営、隊運営に成人の支援が必要になります。今後とも保護者の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪



活動の写真は団の Google Drive で共有していません。

ご希望の方は各隊隊長にご自身の Google アカウントをご連絡ください(Google アカウントをお持ちでなくご希望の方はアカウントを作成ください。

無料で簡単に作成できます)。

Facebook ページで活動の様子を報告しています。アカウントがなくても閲覧いただけます。

<https://www.facebook.com/nakano8/>

リーダーの活動

- 6/5 18NSJ 派遣隊説明会
- 6/11 CS 円卓会議
- 6/13 地区委員会(OL)
- 6/12 体験会会議(OL)
- 6/20 地区コミッション会議(OL)
- 6/24-25 18NSJ 派遣隊訓練キャンプ
- 6/30 18NSJ 備品会議(OL)
- 7/2 SFH フォーラム
- 7/3 東京連盟コミッション会議(OL)
- 7/9 18NSJ 保護者会
- 7/10 団会議
- 7/11 地区委員会(OL)
- 7/22 刊「環境」説明会
- 7/25 地区コミッション会議(OL)

スカウト豆知識

「スカウトの日」

毎年9月の第3月曜日は「スカウトの日」です。「スカウトの日」は、全国のスカウト・指導者が地域社会への奉仕活動をはじめとして、様々なスカウト活動を全国の各地域において一斉に展開し、加盟員一人ひとりが地域社会に貢献するとともに、スカウト運動が地域社会に根ざした実践活動であることを広く社会にアピールすることを目的としています。

1974年、シニアスカウトフォーラムで「より良い社会を目指して、スカウトは何をすべきか」について討議された結果、「スカウト奉仕の日」を全国的に展開することが提案されました。日本連盟ではこの提案を受け、1975年から、5月の子供の日を中心とした1週間を「スカウト週間」として、「より良き社会を目指して／美しい日本を作ろう」を統一テーマに、全国的にスカウトたちが街に出て、奉仕活動を展開していくこととしました。1990年に、それまでの15年間の活動を再点検し、この活動を「スカウト奉仕の日」とし、また国際環境年にちなんで「スカウトカントリー(缶取り)大作戦」を統一テーマに展開しました。そして各参加団からの報告内容を整理・分析した上で時期が9月になり、名称は「スカウトの日」と制定されました。

その後「スカウトの日」は、SDGsも踏まえて発展的に展開し、環境をテーマにした地域奉仕の日として、活動の幅を広げて実施されています。